

平成 31 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 日本ライオン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 又 川 鉄 男
 (登録銘柄 コード番号 2703)
 問い合わせ先 取締役常務執行役員管理本部長 李 友 裕
 (TEL 03-3258-6503)

特別損失(固定資産の減損損失)の計上並びに業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月期において、特別損失として連結子会社における固定資産の減損損失(連結)を計上することといたしました。

また、平成 30 年 2 月 14 日に公表しておりました平成 30 年 12 月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における固定資産の減損損失(連結)

当社の連結子会社である L&K INDUSTRIES PHILIPPINES, INC.において、事業計画に対する進捗が当初計画を大きく下回る推移となり、今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社が保有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 180 百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 業績予想と実績値の差異

平成 30 年 12 月期 通期連結業績予想と実績値の差異(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	14,500	120	9.64
実績値(B)	13,692	△10	△0.82
増減額(B-A)	△808	△130	△10.46
増減率(%)	△5.6	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	13,775	109	8.80

(1株当たり当期純利益を除く金額の単位:百万円)

(差異の理由)

売上高につきましては、モジュール製品の立ち上げ時期調整により、売上高は前回予想を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は減損損失 180 百万円を計上しましたことで前回予想数値を下回ることとなりました。

3. 配当予想について

期末配当予想につきましては、平成 30 年 2 月 14 日に公表いたしました1株当たり 2.5 円から変更はありません。

以上